

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科							
科目名	オブジェクト指向分析設計							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。 ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。 ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。 							
日程と内容	9/18 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、システムの開発（1章） 10/ 2 オブジェクトとクラス（2章） 10/ 9 関係（3章） 10/16 継承（4章） 10/23 委譲（5章） 10/30 システムの表現（ユースケース）（6章） 11/ 6 機能の表現（7章） 11/13 外観の表現（8章） 11/20 補助的な表現（9章） 11/20 システムの拡張（10章） 11/27 抽象と具象（11章） 12/ 4 分析・設計・実装（12章） 12/11 分析・設計・実装（12章） 12/18 分析・設計・実装（12章） 1/15 まとめ 1/22 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。：達成した ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。：達成した ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。：達成した 							
反省点	なるべく区切りごとに時間をおいて、各自の進み具合を直接、目で確認しながら進めたため、理解度にあわせた説明や解説をするように心がけた。そのためか課題の提出状況は非常に良かったが、定期試験での理解度は今ひとつだった。							
来年度の計画	授業アンケートでも要望があったが、復習をもっと取り入れて、知識や技術の定着を促す機会をつくっていきたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.0であった。昨年度が7.7であり若干上昇した。授業内容が理解できたかが3.7とこちらも前年が3.5であったところから上昇はした。							
履修登録者数	39名	定期試験受験者数	27名	合格者数	25名	合格率	93%	